

元気いっぱい 友だちいっぱい
すくすく学ぼう 夢いっぱい
スマイルで学ぼう 夢いっぱい

横浜市立美しが丘小学校 平成28年10月31日



美小通信 7

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。
URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 島山 真
青葉区美しが丘2丁目29
電話(901)3408

ともに

深瀬 須美子

空を見上げると秋らしい雲が、青空の中に美しい模様を描いています。理科の支援員さんが理科室前廊下に、雲の種類がわかる絵を掲示し、子どもたちが見ています。

さわやかな秋晴れの10月21日、「こどもの国」でたてわり全校遠足を行いました。迷子になってはと低学年と手をしっかりつないでいる高学年。疲れてしまった低学年の荷物を持ってあげている中・高学年。帰りの電車待ちの駅のホームでうつらうつらしてしまったリーダーの6年生を起こそうとした子を止めて「シイー」と指で目を合わせ、みんなで「疲れているんだよ」と小さな声で伝え合っている優しい子どもたち。グループごとの解散式ではリーダーが立派に振り返りの言葉を述べていました。「地図を必死で見ながら歩く私を、目印を探して助けてくれたみんなのおかげで無事リーダーを務めることができました。ありがとう。」等の言葉に対し、「リーダーのおかげで1日過ごせました」と返す後輩たちの姿がありました。様々な個性をもっている子どもたちが互いに助け合って楽しい思い出を作った全校遠足。教職員もボランティアの方の協力を得て、チームとして子どもたちの活動を支えました。子どもたちの姿から、相手のことを考えどうすればともに生きていけるか考え、困難を乗り越えてよい社会を築いていくそんな未来の姿が見えるような気がしました。

10月28日～11月6日は読書週間です。お話の時間の皆様、コロボックルの皆様、図書委員会、学校司書などによる取組が計画されています。読書は豊かな心を育て、考える子どもを育てます。秋の夜長お子さんと一緒に本を読む時間もいいものではないでしょうか。

宮澤賢治の「度十公園林」(けんじゅうこうえんりん)という話を読みました。度十という人は、人から認めてもらえないことの多い人であったが、木を植えたいと強く願い育てた。度十が亡くなり何十年もの年月が流れそこが子どもたちの大切な憩いの場となった。その価値に気付いた人々が度十公園と名付け大切にしたいという話です。人間は生きている間に何か人のためになることができるのだなと思いました。どのように役立つかわかることに価値があるのだということを忘れてはならないと思いました。

共生社会がいま目指されています。グローバル化する社会、高齢化する社会では、互いの違いを認め合って助け合って生きていく力が求められます。AIなど、ロボットが活躍し始める時代、大切なのは、学びを生かしよりよく社会や人々とかかわり主体的に人生を生きようとする人間性ではないでしょうか。

長い箸しかない食事場面で、天国では相手に食べさせてあげることで皆食事が出来、地獄では自分のことだけ考え食べようとし、誰も食べられずお腹をすかしていたという話があります。相手を思うことで自分もともに幸せになるそんな世の中にしていきたいと思います。

50周年準備委員会が始動しご協力いただける方を募集しています。今年度48年を迎えた美しが丘小学校。地域、保護者、卒業生、児童の皆さんの絆が深まり、心に残る50周年になるよう願っています。これからもどうぞご協力をよろしくお願いいたします。